

岐大通2014

2014 J.League Division2

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

6/21号

第19節 V・ファーレン長崎 戦

編集発行：『岐大通』製作委員会

今号の製作担当：

ささたく&吉田鑄造

6/21 18:00 @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest : V・ファーレン長崎 2013 J2 19勝9分14敗 勝ち点66:第6位

「ヴィ・ファーレン」と読む。サッカー強豪校として知られる国見高校のOBチーム「国見FC」と島原地区で活動していた「有明SC」が統合して発足。「有明SC」として長崎県リーグを制し、FC琉球とともに2005年に九州リーグへ。2006年度は『全国社会人』で優勝し、『地域決勝』では下馬評も高かったものの、決勝ラウンド最終節でFC岐阜に1-2で敗れJFL昇格ならず。2年後の同大会で町田ゼルビア、ホンダロックとともにJFL昇格。JFL参戦4年目の2012年に優勝してJ2へ。1年目の昨季でいきなり6位に入りJ1昇格プレーオフに参戦した。(吉田鑄造)

前節の6/14・ホーム戦では、2位・ジュビロ磐田を相手に0-4と大敗したFC岐阜。クラブ史上最高の入場者 15,138 人の観客を前に、強豪チームと真っ向からの勝負をして完敗という結果には賛否が分かれるところだろう。しかし(今後の観客リピートなどを考えても)意地でも1ゴールは決めて欲しかったが、無得点で終わってしまったのは残念だった。ともあれ、大量失点での敗戦ではあったが、岐阜より下位チームのほとんどが勝ち点を積みなかったため、順位は1つだけ落としての16位。しかし得失点差は-4と大きく後退してしまっただけで、勝ち点でも上位陣との差が離れてしまった。ここでの3連敗・ホーム連敗は何としても避けたいところだ。今節は選手全員が気持ちを切り替えて、勝利を目指して激しく戦ってほしい。

さて、今節の対戦相手はV・ファーレン長崎。昨年はJ昇格初年度にして驚異の快進撃を見せ、いきなりJ2記録となる6位でプレーオフ進出も果たした、昨シーズンのJ2で「台風の目」となったチームだ。FC岐阜とのJリーグでの通算対戦成績は(昨年の)1勝1敗、6/8のホーム戦ではアディショナルタイム最後のプレーで2-1と逆転勝ちを収めたが、10/20のアウェイでは0-3と大敗している。高木琢也監督2年目の今シーズン、昨年ほどは調子が上がらずに現在9位となっている長崎だけに、油断は禁物だが今回はしっかりと勝って勝ち点3を積み上げたい。また岐阜と長崎は、2006年(岐阜の東海リーグ1部時代)に2回対戦している。1回目は全社・準決勝10/17、1-1の後にPK戦で敗北。しかし2度目は地域決勝・決勝ラウンド12/3最終戦、これでJFL昇格が決まるという一戦を(現在北九州に所属し、当時はレンタル移籍していた)池元友樹の2ゴールで2-1と勝利し、FC岐阜は(ホンダロックとの)入れ替え戦に進むことが出来た…という過去を持っている両チームだ。

長崎の最も注意すべき選手は…おそらく、岐阜サポ諸兄の誰もが「#18 佐藤光一」と言うことだろう。佐藤は、昨年は12ゴールでチーム得点王となり長崎の快進撃を支え、現在も7ゴールとチームトップの得点を誇る選手だ。そして、2008年にFC岐阜で特別指定選手(四日市大)としてデビューして初出場・初ゴールを決めて以来、2012年シーズンまでの5年間で149試合に出場して計39ゴール(クラブ最多得点)の記録を残した選手。昨年対戦した2試合でも、1ゴールずつ決めていた。今節こそ、(他の選手にもだが)彼には絶対にゴールを許してはならない。現在のFC岐阜には、佐藤と一緒に活躍した選手は多くは残っていない(計8人)が、その想いを最も激しく燃やしているのは、その佐藤と同じ年齢・同じ三重県出身・同じ四日市大出身・そして同じ2008年に特別指定選手としてFC岐阜に入団した#17野垣内俊だろう。また、09年からのチームメイトで、クラブ最多出場(184試合)の記録を持つ#4田中秀人も同様の気持ちのはずだ。彼らのマッチアップに(そして佐藤を封じる活躍に)是非注目したい。そして、佐藤と同じ7得点を挙げ、現在リーグ得点ランキング6位につけている#9ナザリトと#24難波の両選手には、この試合でぜひともゴールを決めてもらいたいところだ。チームの歴史にも、選手にも因縁のある両チーム。さらに長崎のGMは(2008年~2012年は岐阜のフロントにいた)服部順一氏ということもあり、かつて岐阜に在籍していたスタッフ(石崎義之氏、河野佑介氏)もいる。様々な因縁のあるチームだけに、様々な燃える熱い想いがぶつかり合う試合となるのは必至だ。現在のところ、ピッチはあまり良いコンディションとはならない予報だが、そんな時こそ相手に負けない強い気持ちが選手には求められる。また今節も「岐阜市民総力戦」と銘打った集客活動で、多くの観客入場が予想されている。僕らサポーターも強い気持ちで、ホームスタジアムの利を活かして力強い声援を送ろう。そして試合終了後には、みんなで勝利の喜びを分かち合おう。(ささたく)

2014J2

■順位表■第18節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	湘南	51p	+36	44	8	H●
2	磐田	37p	+17	32	15	H●
3	松本	34p	+11	27	16	A●
4	北九州	30p	+3	21	18	H△
5	岡山	30p	+3	18	15	A●
6	大分	29p	-4	16	20	A●
7	栃木	28p	+4	23	19	H●
8	千葉	27p	0	22	22	H△
9	長崎	26p	+5	24	19	
10	福岡	26p	+2	25	23	H●
11	京都	26p	-1	24	25	H○
12	山形	25p	+6	21	15	A●
13	水戸	25p	+3	21	18	A●
14	熊本	24p	0	20	20	
15	札幌	21p	0	18	18	
16	岐阜	21p	-5	22	27	---
17	群馬	20p	-5	17	22	H○
18	愛媛	19p	-3	15	18	A△
19	横浜FC	17p	-7	15	22	A○
20	東京V	14p	-13	11	24	A○
21	讃岐	9p	-24	12	36	H○
22	富山	5p	-28	8	36	H○

次回HomeGame

第22節 横浜FC戦

7/20(日) 18:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..

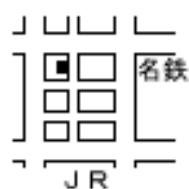
心の花が咲く..

何も無い店だけど...

心癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は

JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。

休:月曜(定休日が変わりました!)

投稿募集!!

gidaidohri@
hotmail.co.jp

【第18節】岐阜 0-4 磐田

●はっきり言って力負けですよ…。でも自分たちのサッカーをやりに行こうとしての結果なので、あんまり悲観はしてないです。これがどん引きの引き籠りサッカーとかやったらまた評価は違ったのかもかもしれません…。

特に後半はこれから先のことを見越しての選手起用だったと思います。それは、ラモス監督の試合後の会見のコメントにも表れているかと思います。選手たちもあまり引きずらないで次節に臨めるかと思っています。

最後におかえり、平。次は地主園秀美が早くピッチに立つ姿を早く見たいです！

(岐阜の誇り)

●試合終了後に観戦仲間が「あれだけの観衆がいたんだから、もしウチのゴールが決まったら、いったいどれくらいの大歓声が上がったんだろう？」とつぶやいていた。いや、まったく、その通り。せめて、一点でも入ってたらね。初めて見に来てくださった方も多かったと思うけど、どうだろう？また来てくれるかな？せっかく、いい雰囲気を作っていたんでもう少し結果が出せるとよかった。あの湘南にも食い下がれたので、あわよくば磐田にも……とと思っていたけど、いやいやとんでもなかった(順位は湘南の方が上なんだけれども)。試合後の監督のコメントにもあったけど、キックオフ直後は様子見ムードの磐田ゴール前に迫ることができたが、いかにも最初の失点が軽すぎた。あのパスミスは弁解の余地がないんじゃないかな？そこは、当の本人もわかってるみたい。ああいうミスは相手が上位になればなるほど見逃してはくれない。連携の修正をお願いしたいところだ。

そして、ハーフタイムに「後半はアタマから磐田は押してくる。一点取ったら大勢は決まるからな。そこをなんとか、こらえられたら、まだ目はある。」とつぶやいていた。案の定、嵩に掛かって攻め込まれ、勝敗をほぼ確定する手痛い失点。その後は、体力温存、ケガ回避の磐田を押し込む場面も見受けられたが、ゴールは割れず。正紀、そして平の惜しいシュートも「惜しい」ままで終了してしまった。結局、今季最多失点を更新し二戦連続の零封負け。気になったのはナザリト。彼のコンディションって、どうなの？大丈夫なのかな？

内容的には完敗だったし失点も多かったけど、けっして自陣に引きこもって負けたワケじゃない。真っ向勝負を挑んで及ばなかっただけ(大きく、って付けなきゃいけないかな？)。だからこそ、終了後の挨拶に来てくれた選手達には「次だ！次！もっと、やれるだろ！？前向いていこう！！」と声をかけることができた。まだまだ、伸び代はあるはずだよ。

さて、次節はホーム連戦。相手に比べて、多少のアドバンテージはある、と思いたい。そして、次節が終われば天皇杯を含めてのアウェイ3連戦。オマケに札幌→熊本→長崎という島流しみたいな大遠征。いったい、どんな罰ゲームだ？「神様、オレたち何か悪いことしましたか？」と小一時間問い詰めた。こんな日程が昨季でなくてよかった。ま、それはともかく、史上最高入場者数達成おめでとう！フロントのみなさん、お疲れさま。グッジョブでした。あと、復活おめでとう！待ってたよ!!>平。ホント、アレが決まったら言うことなかったんだが。まあ、それは次にとっておけ。できれば、勝利をつかみとる得点で！でも、これからがムチャクチャ楽しみになってきたよ。期待してます。

(ぐん)

●いつものように『岐大通』を配るのだけど、「ちょっと待って、ちょっと待ってちょうだい？」というくらいのもスゴい入場待ちの列に、お渡し出来なかった方も多かったかと。ごめんなさい。長良川の誇る屋台村も大行列。この時点で1万は確実に行くな……とは思ったけれど、なんとクラブの目標を越えた15,138人の大観衆！本当に皆様ご来場ありがとうございます。

さて、肝心の試合は果たしてそんな大観衆の長良川に相応しいものだったのか？……という、実は「そうだった」という感想もそんなに的を外れじゃないような気がしている。スコアは0-4の、わかりやすく言えば『大敗』。「同じリーグを戦う相手に格上も格下もない」というのがぼくの基本的考え方なだけで、やはり磐田は当たり前のように強かった。その強い磐田相手に、いまのFC岐阜が現実的に勝ち点1でもいいからどうしても欲しい！というチーム事情だったら、べったり守ってどうしようもないつまらないサッカーをやってスコアレスドローを狙って、その結果守りきれなくて0-1や0-2で負ける…ということにもなっただろう。でも、この試合のFC岐阜は自分達のサッカーで磐田に臨み、そして実力差のままに敗れた。ぼくは4点差で負けても納得だった。だって、それくらいの差はあったのだから。でも、やっぱり1点は奪ってほしかった。チャンスはあったんだけどね。タイラの復活には場内から大きな拍手。いいポジショニングから惜しいシュートもあった。これから厳しい岐阜の夏場、コンディションを崩す選手も出てくるでしょうから、ケガからの復帰は嬉しいニュース。大暴れしてください。期待します。

(吉田铸造)

『編集人から一言』 ワールドカップで思うこと。

●残念ながら、磐田戦の翌日に行われたコートジボワール戦では逆転負けの日本代表。この『岐大通』が配られる長崎戦の前日にはギリシャ戦が行われています。水曜の夜にこの原稿を書いているので、もちろん結果はわかりませんが、いい結果が出ているはずだと信じています。

FC岐阜のラモス監督もGK川口も、テレビ出演が多くなっています。川口が岐阜のネクタイをちゃんと締めているのを見ると、「いまの岐阜にはすごい選手がいるんだなあ」と改めて感慨ひとしお。

でも、やっぱり「ワールドカップに出た選手が岐阜にいる」よりは「岐阜にいた選手がワールドカップに出ている」方が嬉しい。まだ、そうなったことはないけど。

「FC岐阜において、その後でA代表デビューした」選手は、ぼくの知る限りだと朴基棟(2010年に在籍、リーグ戦8試合1ゴール～10/23・アジアノ岡山戦@津山～)。2011年に光州FCに移籍して、同年に韓国代表に選ばれホンジュラス戦に出場)の1人だけのはず。もし、今回のワールドカップに齋藤学が出てきたら愛媛サポは揃ってむせび泣くだろうというのは想像に難くない。

やっぱり、いつかは。そう思うよね。

ところで、4年前は「デンマークを知る男」としてデンマークリーグ経験者の橋本卓がテレビ取材を受けてただけど、今年もコロンビアU-20代表経験者のナザリトが取材を受けたりするのでしょうか(笑)。

(吉田铸造)

岐阜の難波宏明。

●岐阜への移籍

絞り出すような声で「岐阜に行く」と聞いたのは今年の年末12月29日のことでした。彼が行っているミニキャンプの合宿場の1室で私たちは1ヵ月ぶりの再会をし近況報告をしたのでした。

その前に彼と最後に会ったのは水戸ホーリーホックの一員としてシーズン最終戦の横浜FC戦をピッチでなくスタンドで観戦した時。それからしばらくは私からの連絡は絶ち、クリスマスが過ぎたころだったと思いますが会いに行く連絡を私からしました。シーズンが終わると契約更新というプロ選手にとっては最もナイーブな時期になると思っていた私はそれまでほとんどの連絡を絶ちました。唯一連絡をしたのは12月9日の彼の誕生日だけでした。

約1ヵ月ぶりに会った彼は合宿での練習が充実しているのが非常に明るく、そして非常に前向きな雰囲気でした。そんな中、「来シーズンは……？」となかなか切り出せない私に「岐阜に行く」と彼は切り出しました。岐阜に行くこと決めたまっけは人とのつながりとチームからの熱意と彼は話してくれました。その内容はジェイズゴールに載っていた新体制発表会見での彼のコメント通り……以下引用「僕の場合は田口コーチの方から連絡をもらいました。横浜FCで1年半やっていて、田口さんから「どうだ」と言われ、その後すぐに松永さんから連絡をもらったので、ここしかない決めました」です。

●4年目の決意

彼と関わるようになって4年目を迎えましたが、実は彼の移籍先が決まる前から2014年は今までのようなサポートはできないと私は考えていました。

・横浜から水戸、そして岐阜と私の住んでいる横浜からどんどん離れてしまったこと（それでも水戸には縁があって彼の想像以上に通うことができましたが）もあり彼をサポートすることがこれまで以上に難しくなったこと

・私のプライベートの確保（私事ですが夏に子供が生まれます^^!!）

・本来の目的と意義のブレ

などなど理由は様々です。

そして彼を広報するその役割について細分化してもう少しお互いの負荷が少なくなるようにしたいと思っていました。

また第3者がどんなに選手を一生懸命広報するよりも選手自身が一生懸命にプレーし、ゴールという結果を残すことがサポーターの方々への感謝の気持ちになり、彼の願いであるスタジアムを満員にすることにつながるんだという再確認がありました。これまでの3年間でそんな結論に達しました。ゴールするという選手自身の広報です。

狭い合宿場の1室で私たちはそのことを再確認し、「どんな敏腕な広報が付くよりナンチャンがハットトリックするのが一番の広報になるから。だからハットトリックしてよね！応援してるよ！」と私は最後に彼に話しました。

●難波選手のゴール

そんなこともあって難波選手の得点は1試合で1点だけではダメなんです。あれから半年がたちますが、彼は現在7ゴールを決めています。彼がゴールをするたびに私が思うのは、なによりもゴールしてチームが勝つこと。そしてハットトリック。

難波選手がゴールしてもチームが負けてしまっただけでは彼はもちろん私も喜べません。1点を取ったならできれば2点目をそして3点目を「貪欲に狙い続けろ！ハットトリックを取れ！あの時の約束を守れ！」と思っています。欲張りですよ。彼に対してどんどん欲張りになります。縁と人の恩を感じて移籍した岐阜で一歩ずつ一歩ずつ全力で前に進んで行って欲しいし、サポーターの方々に難波宏明という選手を楽しんでもらえたらと思っています。私も皆さんと一緒に楽しませ

てください。彼が皆さんへの恩返しをどんな風にしていくのか見守らせてください。

●最後に

試合後に彼がトラメガで皆さんにメッセージを発信するのも、チームの広報さんの期待にこたえるべく一生懸命パフォーマンスするのも、支えてくれている方々すべてへの恩返しだと思います。愚直で真面目な男のまっすぐなメッセージだと思います。そんな彼が発信するメッセージが少しずつ少しずつサポーターの方々には届いているんじゃないかな？と遠く横浜から感じています。

「夏になり暑くなってきたらベテランが……」という文章をたまに見かけますが、難波宏明は夏に燃える男です。心配ない！むしろもっと熱く熱く彼らしい生き様を見せてくれると私は信じていますし、過剰なくらい期待しています。皆さんの期待が選手を少しでも多く選手を走らせたいと思います。ぜひ選手には多くの期待をしてやってください。

そして昨年までのように難波選手を皆様にお伝えできていないことお詫びいたします。その分、彼が頑張りますので応援よろしくお願いします。（^^24PR）

【ユース】今回も盛りだくさん

まずは日本クラブユースサッカー選手権東海地区予選について。我らがFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）は6月14日（土）に磐田市のゆめりあサッカー場にて全国大会への出場権をかけてJFAアカデミー福島（以下JFA福島）と対戦しました。

JFA福島のユースチームは昨年よりプレミアリーグEASTに参戦し、昨年は10チーム中3位の好成績を残しています。今年は5節終了時点で0勝2分3敗と苦しんでいますが、今回のクラブユース選手権東海地区予選のPPリーグではプレミアリーグWESTで現在首位の名古屋グランパスを下して3位を確保するなど、地力は間違いなく持っているチームです。残念ながら現地参戦出来ませんでした。現地に行かれた方のツイッター中継を追いかけていました。情報によればFC岐阜ユースは試合開始早々に失点しますが、すぐに同点に追いつきます。前半終了時点では結局1対2で追いかける展開となりましたが、堂々と戦っていた模様。後半も互角の戦いをしていたようですが、4点目をとられてからは気が抜けたのかバタバタと10分弱の間に3点取られて万事休す。最終的には1対6の惨敗となり、これにより今年最初の全国大会への道が絶たれてしまいました。残念無念。

次にG1リーグについて。上記試合の翌日の6/15に第5節の試合が行われました。対戦相手は各務原高校。昨年のG1リーグの優勝チームであり、今年もここまで負け無しの3位と好調です。試合結果は3対0でFC岐阜ユースが快勝！この節でここまで全勝同士だった岐阜工業が引分けた為、FC岐阜ユースは首位をキープしました（嬉）。G1リーグの今後の試合は6/28に関商工戦、7/5に岐阜工業戦となります。強豪校との対戦が続くここらあたりが一つ目の山場です。ここをしっかりと戦い抜き、首位で前半戦を折り返したいものです。最後に天皇杯の県予選を兼ねる岐阜県サッカー選手権大会について。先週末大学の代表も岐阜経済大学に決まり、出場する4チームが全て決まり、16日には大会要綱が岐阜県サッカー協会から発表されました。準決勝は6/22に大垣市の浅中運動公園で、決勝は6/29に長良川競技場にて開催されます。FC岐阜ユースはまず社会人第2代表のGiocatore Classicと対戦します。試合は14時KO。この日はトップの試合も有りませんので、是非応援に行つてやって下さい。頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！

※試合会場・時間に変更の可能性があります。必ず岐阜県サッカー協会の公式サイトでご確認下さい。（シユナ）

